

東海道

今昔マップ。

お問い合わせ

四日市市 観光推進課

TEL 059-354-8176 FAX 059-354-8307

MAIL kankou@city.yokkaichi.mie.jp

H P <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu87773.html>

【参考文献】

四日市市誌「四日市市史・第4巻史料編文化財」

四日市市誌「四日市市史・第6巻史料編総図」

恒人社「本邦に於く東海道第12集地名一庄野(井田川)」

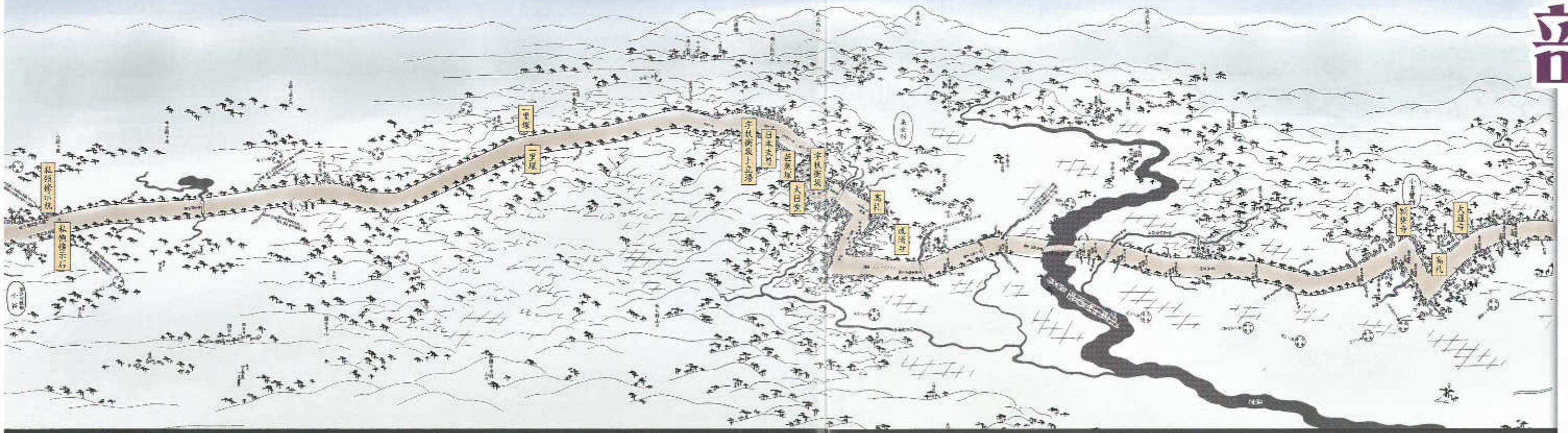
三重県教育委員会編「歴史の道調査報告書(東海道 七里ノ辻から鈴鹿峠)」

平成元年 3月31日発行

平成 4年 3月31日発行

平成27年12月23日発行

昭和62年発行



32. 血塚社



杖衝坂を登りきったところにある。鳥居の奥にある血塚の祠は桓業命(日本書紀では日本武尊)の血で染まった石を集めて築ったと伝えられている。

31. 芭蕉の句碑



「歩行ならば杖つき坂を落馬かな」貞享4年(1687)江戸から関西に向かった芭蕉が馬に乗って杖衝坂にさしかかったが、坂が急なため落馬したことを詠んだ事語のない有名な句である。

30. 杖衝坂



東海道でも急な坂道の難所として知られる。俊徳命(日本書紀では日本武尊)が東征からの帰路、足が滑ってこの坂道を上るのに、腰の剣をはずして杖にしたという伝説がある。この坂のところで「吾が足三重の匂りなして寝たれ」といわれ、これが三重県の地名の由来ともいわれる。

29. うつつへ町かど博物館



采女町内の和風平屋住宅をそのまま利用し、内部地区の「歴史と文化」に関する古代の埋蔵文化財や中世から現代に至る遺品や資料が展示・紹介されている。
開館日 土・日祝(年末・年始を除く)
開館時間 9:00~12:00

28. 小許曾神社



延喜5年(905)式内神社として神名帳に記載されている。伊勢の国には253の大社・中社・小社があり、そのうちの小社として選ばれた1100余年の歴史を有する式内神社である。

27. 日永の追分



京に向かう東海道と伊勢に向かう伊勢街道の分岐点である。四日市宿と石薬師宿の間に立つことから関の宿とよばれ、周辺には多くの旅館や茶店などが並んでいた。